

発 刊 に あ た っ て

東日本大震災による未曾有の大災害に言葉をなくし、失意の中で懸命に立ち上ることから間もなく2年が過ぎようとしています。

この被害からようやく日々の生活がゆるやかに、落ち着きを取り戻しつつある本年は、津波により太平洋に姿を消した六角堂が、明治38年の創建当時の姿で4月に再建される等、今後の復興に力強い第一歩を踏み出す重要な一年となっております。

また、現在も私たちの生活に大きな影響を与えている福島第1原子力発電所事故、京都議定書の継続期間を来年1月から8年間とした「国連気候変動枠組み条約第18回締約国会議(COP18)」等、今後のエネルギー政策に関する大きな課題については、原発に依存しない、地域の特性を生かしたエネルギーの地産地消を目指すことが重要と感じております。

このような中、本市としましても、本年度小学校数校に太陽光発電設備を導入するなど地球温暖化の要因である二酸化炭素の削減を図るとともに、災害時には蓄電された電力を利用するシステムを構築し、より安心で安全なまちづくりに努めているところであります。

放射性物質に対する対策については、昨年開設した北茨城市放射能対策プラザにおいて放射線測定器の貸し出しや食品の放射能測定を行うとともに、本年4月には「北茨城市除染実施計画」を策定し、除染実施区域の詳細な汚染状況の調査及び除染を進めてきたところです。

なお、本書は、平成23年度における本市の環境及び清掃事業の状況をまとめたものです。皆様の環境へ対する理解を深めていただくため、また、行動のきっかけに役立つことができれば幸いです。

平成24年12月

北茨城市長 豊田 稔